



# 西中学校だより

令和元年10月21日  
東久留米市立西中学校

## 自治力の向上を目指して

校長 藪野 勝久

いよいよ秋本番の季節となりました。皆様にはお変わりなくお過ごしのことと存じます。本校でも様々な教育活動が行われました。前号では3年生の京都・奈良への修学旅行についてご報告させていただきましたが、以降、中間考査や1年生の川井キャンプ場での飯盒炊さん、2年生を中心とした新たな生徒会役員の誕生と生徒総会、2年生は職場体験の準備が進みつつあります。どの学年もよい教育効果を上げていると考えています。

さて、日々の教育活動を振り返ると、子供たちが小集団（班）で相談し合う、いわゆる「話し合い」という活動が多く取り入れられます。例えば修学旅行では、見学地の選定、どのようなコースを見学するか、食事はどこでどのようなものを食べるかなど班毎に話し合いが活発に行われていましたし、また、1年生の飯盒炊さんでもどのようなメニューにするか、役割の分担をどうするかなどの話し合いが行われていました。

日常の会話、例えば清掃中の「手伝うよ」「有り難う」といった、ちょっとした会話の中にも、生徒同士の関係が形成されていく過程を見ることができます。当たり前ようですが、話し合うという行為によって人間関係は形づくられ、あるいは反映されるのだとつくづく感じます。従って、意図的に班での話し合いを設定することには、単に何かを決めるためだけではなく、その本質は人間関係の形成やコミュニケーション能力の育成といった教育の目的を仕組んでいるということです。

こうした意図的な話し合いの設定をどのようにするかということについては、4年程前、2か年にわたって市の研究指定校を受け、「自治活動を通して望ましい人間関係力を築く力を育成する」をテーマにして研究を行いました。望ましい人間関係づくりのためには、まずは話し合いが必要であり、「発話」「傾聴」「合意」の連続が人間関係を育むという結論に達しました。道徳科の時間の生徒の話し合いでは、一所懸命に自分の考えを主張する生徒の姿や、その意見が受け入れられると満足げな姿がここ彼処（かしこ）に見うけられました。その後授業の感想を読むと、「人の話を聞いて、色々な考えがあって面白いと思った」、「自分とは違う考えがあるのを知ってとても勉強になった」といった感想が多く見られました。つまり、自らの発話は傾聴することによって生まれているのがよくわかります。このように、道徳性を高める目的で行われる道徳科の授業であっても、話し合うという行為が自己肯定感を高め、他者を認め、人間関係を構築するのだと改めて感じ、副次的な教育効果のあることが確認できます。

しかし、人間関係を良好にすることと、望ましい人間関係の構築は違います。望ましい人間関係とは、単なる仲良しの関係ではなく、目的のある社会的な集団・組織の中で、互いに協力し合い、助け合いながら組織の目標を達成させようとする人と人との関係だと思えます。私たちが目指す教育は、こうした関係を生徒自らが築き、また、この関係を築ける人、いわば「良き社会人」の育成にあります。そのため手段として、自主的に自分たちの学級や自分たちの学校を良くしようとする生徒会活動のような自発的・自治的な活動の場が必須であるといえます。「自治活動を通して」という研究テーマにはこうした意図があります。今後も、この研究を深め、やがて個人の問題や学級の問題を話し合う場をつくり、生徒自らが、自発的・自治的に話し合いあえる学校づくりを目指したいと考えております。

## オリンピック・パラリンピック教育の取組

10月3日（木）実施

今年度のオリンピック・パラリンピックの取組として、講師に関東学生陸上競技連盟会長 有吉正博様をお招きし、「長距離走の実技指導」を行いました。有吉先生は、箱根駅伝でスターターを務められ、ご自身も箱根駅伝に4年間出場された経歴の持ち主です。授業では、「スキッピング（スキップ）」や「ウオーキングブレイク」、「腕の振り方」「呼吸方法」などの内容でご指導いただきました。有吉先生からは、『走ることの楽しさ』を知ってほしい」というお話もあり、実技中も、「楽しく！」「笑顔で！」という指示が何回もありました。ロードレース大会の練習でもこのことを活かし、本番では、その成果を発揮できたことと思います。

## 令和元年度後期生徒総会

10月16日（水）実施

後期の生徒会役員本部及び各専門委員会が発足し、その活動目標や活動内容についての総会がありました。今回の総会の質疑応答は、学級討議で出せなかった質問や意見、また、委員会から示された回答に対する発言を行うというものでした。初めての試みでもあり、「自分たちが自分たちの力でより良い学校生活を送ろうとする自治の態度を育む」という生徒総会の目的からは、ずれてしまった質問や意見もありましたが、3年生からは、委員会の活動目標や内容について、学校を良くするための質問や意見が出されました。また、質問者、委員長ともに発言の意図が相手に伝わらず会話が成立しないなどの点もみられました。

「何のために生徒総会を行うのか」という総会の目的を明確にした事前指導を行い、日常の教育活動においても、相手にわかるように伝えるコミュニケーション力の向上を図ることで、次の生徒総会では、さらに質の高い議論の場となるようにしていきます。

## 輝け！ 西中 部活動の活躍！

（敬称略）

女子バスケットボール部 東久留米市中学校スポーツ大会 第3位

I 組 第49回多摩特研マラソン大会 3000m 第14位（11分32秒） 島崎 奏良

※ ただいま、各部活動のブロック新人大会が行われています。先日の台風19号で試合が延期になるなどがありました。普段の活動の成果をご報告できると幸いです！

## 第11回中学生東京駅伝大会市内選考会

今年度は、令和2年2月2日（日）に、中学2年生が参加する「中学生東京駅伝大会」（市区町村対抗）が実施される予定です。そのための市内選考会が10月9日（水）及び16日（水）に久留米中学校で行われました。



結果は、男女各チーム21名のうち、本校からは男子6名、女子7名が選抜され、西中学校が全体の約1/3の人数を占めるという結果になりました。また、この選考会に先立ち、校内での選考会も行いましたが、市で決められた標準タイムをもとに選ばれた人たちはもちろん、ぜひ挑戦したい！という意欲の高い人が多数参加し、このことから「走ることの価値」を感じていることが伺われます。今後の活躍に、『期待！』です。